

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2016-14527(P2016-14527A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2015-212704(P2015-212704)

【国際特許分類】

F 24 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 24 F	11/02	1 0 5 Z
F 24 F	11/02	1 0 4 A
F 24 F	11/02	1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る空気調和システムは、除湿運転または冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部と、を備え、制御部は、設定部で設定されたモードが有効モードであるとき、告知部に情報を表示、音または振動で告知させることを特徴としている。

また、告知部の告知に基づいて、ユーザーが前記空気調和システムに冷房運転または除湿運転を行わせることができる特徴としている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明に係る空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部と、を備え、設定部を1回操作することで無効モードから有効モードに設定することができる、または、設定部を1回操作することで有効モードから無効モードに設定することができる特徴としている。

上記構成の空気調和システムにおいて、設定部は蓋で覆われてあり、蓋は開閉することができ、蓋を開けたとき設定部を操作することが可能とすることが好ましい。

さらに上記構成の空気調和システムにおいて、設定部および蓋は、遠隔操作装置に設けられていることが好ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明に係る空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、室内湿度を検出する湿度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれか一方を設定することができる設定部と、を備え、制御部は、設定部が有効モードに設定されているとき、温度検出器で測定された温度と、湿度検出器で測定された湿度の少なくともどちらか一方の検出結果に基づき、告知部に告知するか否かの判断を行わせ、設定部が有効モードに設定されているとき温度検出器で測定された温度に基づく検出結果が所定値以上であり、かつ湿度検出器で測定された湿度に基づく検出結果が所定値以上であるとき、制御部は告知部に告知させるように告知部を制御し、温度検出器で測定された温度に基づく検出結果が所定値以上であり、かつ湿度検出器で測定された湿度に基づく検出結果が所定値未満であるとき、制御部は告知部に告知させないように告知部を制御しすることを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明に係る空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、を備え、遠隔操作装置は、室内温度を検出する温度検出器を有していることを特徴としている。

上記構成の空気調和システムにおいて、さらに、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれか一方を設定することができる設定部、とを備え、空気調和システムが設定部の設定により有効モードとなっているとき、温度検出器で検出された室内温度に基づき、告知部が告知を行うことが好ましい。

さらに上記構成の空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれか一方を設定することができる設定部とを備え、温度検出器は遠隔装置に設けられ、告知部は遠隔操作装置に備えられ、設定部が有効モードに設定されているとき、制御部は、情報を表示、音または振動で告知するよう告知部を制御することが好ましい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明に係る空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれか一方を設定することができる設定部と、を備え、遠隔操作装置は空気調和機と双方向通信を行うことが可能な通信手段である第一の送受信部を有しており、空気調和機本体は遠隔操作装置と双方向通信を行うことが可能な通信手段である第二の送受信部を有しており、遠隔操作装置に備えられた第一の送受信部は遠隔操作装置の向きにかかわらず空気調和機本体に備えられた第二の送受信部と通信可能であることを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明に係る空気調和システムは、冷房運転が可能な空気調和システムであって、空気調和運転を行う空気調和機本体と、空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、空気調和機システムの制御を行う制御部と、室内温度を検出する温度検出器と、情報を表示、音または振動で告知する告知部と、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれか一方を設定することができる設定部とを備え、設定部による有効モードまたは無効モードの設定は、空気調和機本体もしくは遠隔操作装置への電源供給が遮断されたあと、電源供給の遮断が解除されたとき、保持されていることを特徴とする空気調和システム。

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

除湿運転または冷房運転が可能な空気調和システムであって、
空気調和運転を行う空気調和機本体と、
前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、
前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、
室内温度を検出する温度検出器と、
情報を表示、音または振動で告知する告知部と、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部と、を備え、
前記制御部は、前記設定部で設定されたモードが前記有効モードであるとき、前記告知部に情報を表示、音または振動で告知させることを特徴とする空気調和システム。

【請求項2】

前記告知部の告知に基づいて、ユーザーが前記空気調和システムに冷房運転または除湿

運転を行わせることができる特徴とする請求項 1 に記載の空気調和システム。

【請求項 3】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、
空気調和運転を行う空気調和機本体と、
前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、
前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、
室内温度を検出する温度検出器と、
情報を表示、音または振動で告知する告知部と、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部と、を備え、
前記設定部を 1 回操作することで前記無効モードから前記有効モードに設定することができる、または、前記設定部を 1 回操作することで前記有効モードから前記無効モードに設定することができる特徴とする空気調和システム。

【請求項 4】

前記設定部は蓋で覆われており、
前記蓋は開閉することができ、
前記蓋を開けたとき前記設定部を操作することが可能となることを特徴とする請求項 3 に記載の空気調和システム。

【請求項 5】

前記設定部および前記蓋は、前記遠隔操作装置に設けられていることを特徴とする請求項 4 に記載の空気調和システム。

【請求項 6】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、
空気調和運転を行う空気調和機本体と、
前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、
前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、
室内温度を検出する温度検出器と、
室内湿度を検出する湿度検出器と、
情報を表示、音または振動で告知する告知部と、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、
前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードの一方を設定することができる設定部と、を備え、
前記制御部は、前記設定部が有効モードに設定されているとき、前記温度検出器で測定された温度と、前記湿度検出器で測定された湿度の少なくともどちらか一方の検出結果に基づき、前記告知部に告知するか否かの判断を行わせ、
前記設定部が有効モードに設定されているとき前記温度検出器で測定された温度に基づく検出結果が所定値以上であり、かつ前記湿度検出器で測定された湿度に基づく検出結果が所定値以上であるとき、前記制御部は前記告知部に告知させるように前記告知部を制御し、前記温度検出器で測定された温度に基づく検出結果が所定値以上であり、かつ前記湿度検出器で測定された湿度に基づく検出結果が所定値未満であるとき、前記制御部は前記告知部に告知させないように前記告知部を制御することを特徴とする空気調和システム。

【請求項 7】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、
空気調和運転を行う空気調和機本体と、
前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、
前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、を備え
前記遠隔操作装置は、室内温度を検出する温度検出器を有していることを特徴とする空気調和システム。

【請求項 8】

前記空気調和システムはさらに

情報を表示、音または振動で告知する告知部と、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部、とを備え、

前記空気調和システムが前記設定部の設定により有効モードとなっているとき、前記温度

検出器で検出された室内温度に基づき、前記告知部が告知を行うことを特徴とする請求項

7に記載の空気調和システム。

【請求項 9】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、

空気調和運転を行う空気調和機本体と、

前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、

前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、

室内温度を検出する温度検出器と、

情報を表示、音または振動で告知する告知部と、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部とを備え、

前記温度検出器は前記遠隔装置に設けられ、

前記告知部は前記遠隔操作装置に備えられ、

前記設定部が有効モードに設定されているとき、前記制御部は、情報を表示、音または振動で告知するように前記告知部を制御することを特徴とする空気調和システム。

【請求項 10】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、

空気調和運転を行う空気調和機本体と、

前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、

前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、

室内温度を検出する温度検出器と、

情報を表示、音または振動で告知する告知部と、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部と、を備え、

前記遠隔操作装置は前記空気調和機と双方向通信を行うことが可能な通信手段である第一の送受信部を有しており、

前記空気調和機本体は前記遠隔操作装置と双方向通信を行うことが可能な通信手段である第二の送受信部を有しております、

前記遠隔操作装置に備えられた前記第一の送受信部は遠隔操作装置の向きにかかわらず前記空気調和機本体に備えられた前記第二の送受信部と通信可能であることを特徴とする空気調和システム。

【請求項 11】

冷房運転が可能な空気調和システムであって、

空気調和運転を行う空気調和機本体と、

前記空気調和機本体を遠隔操作することができる遠隔操作装置と、

前記空気調和機システムの制御を行う制御部と、

室内温度を検出する温度検出器と、

情報を表示、音または振動で告知する告知部と、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを有効にする有効モードと、

前記告知部に、情報を表示、音または振動で告知させることを無効にする無効モードのいずれかを設定することができる設定部とを備え、

前記設定部による有効モードまたは無効モードの設定は、前記空気調和機本体もしくは前

記遠隔操作装置への電源供給が遮断されたあと、電源供給の遮断が解除されたとき、保持されていることを特徴とする空気調和システム。